

日独法学シンポジウム

「デモクラシーと法」

日時： 2023年9月12日(火)～9月14日(木)

場所： 大阪公立大学 杉本図書館(学術情報総合センター)10階大会議室

大阪公立大学大学院法学研究科・フライブルク大学法学部

ご挨拶

本シンポジウムはもともと2020年3月に開催の予定でした。その直前に、新型コロナウイルス感染症が地球を覆うように流行し、開催はその後、2度の延期を余儀なくされました。このたび、ようやく実現に至ったことをわたしたちは心より嬉しく思います。

『デモクラシーと法』というテーマの下、当初は、ポピュリズムとデモクラシーが区別し得るか、されるとすればどのようにしてか、という点に注意が注がれていました。この問題は消えていませんが、その後、国家による感染症対策が前面にあらわれ、さらにコロナ禍に出口が見え始めた2022年春には、ロシアによるウクライナ軍事侵攻により、国際平和秩序が根底から揺さぶられ、国際秩序の再編もささやかれるようになります。ヨーロッパ型のデモクラシーに根底的な疑問も提起されるほどです。こうして幸か不幸か、『デモクラシーと法』というテーマ設定は思いがけぬアクチュアリティを獲得することになりました。

ヨーロッパの意義はヨーロッパ連合の機能に尽きるものではありません。人権概念もデモクラシー概念も、何百年という歴史の積み重ねを経て漸く日常的な語彙となったことをたやすく忘れるべきではないでしょう。これを基礎としたうえで、これらの基本的な政治的法的秩序が、経済・技術の進展とどのような関係を構築していくべきか、が問われねばならないでしょう。このシンポジウムが取り組むのはこうした課題にほかなりません。もとより簡単な処方箋が提出できるわけではなく、このシンポジウムが一つのきっかけとなりさまざまな知的実験が誘発されることを願ってやみません。

このシンポジウムは、旧大阪市立大学、現在は大阪公立大学の大学院法学研究科とフライブルク大学法学部との30年を超える伝統をもつ共同シンポジウムの第10回目として、企画されています。各方面からのご来賓と貴重な知的刺激をお願いいたします。

なお、本シンポジウムは、JSPSおよびDFGによる二国間交流事業支援ならびに公益財団法人民事紛争処理研究基金の支援によって開催することができました。ここにお礼を申し述べます。

大阪公立大学大学院法学研究科長
鶴田 滋

プログラム

9月12日(火)

開会の挨拶 (09:30~09:40)

大阪公立大学大学院法学研究科長 鶴田 滋
大阪公立大学学長 辰巳砂 昌弘

趣旨説明 (09:40~09:50)

アレクサンダ・ブルンス (教授、法博、民事訴訟法・民法)
守矢 健一 (教授、法博、ドイツ法)

第1セッション (09:50~11:20) 歴史的な文脈における民主主義

「私法原則としての市場適合的民主主義」
フランク・シェーファ (教授、法博、西洋法史)

「1945年から1950年まで：民主主義と／または、社会再建」
守矢 健一

ディスカッション (11:00~11:20)

休憩 (11:20~11:35)

第2セッション (11:35~13:05) 統治形式としての民主主義

「政党と民主主義」
パウリーナ・スタースキ (教授、法博、国際法)

「民主主義の憂鬱：民主主義の現状を考える」
野田昌吾 (教授、法博、欧州政治外交史)

ディスカッション (12:45~13:05)

休憩 (13:05~14:20)

第3セッション (14:20~15:50) 民主主義と憲法理論

「憲法的要請としての民主主義の正当性：単一的か、二元的か、それとも複元的か？」
マティアス・イエシュテット (教授、法博、国法学)

「先例の規範性：司法の正統性とデモクラシー」

高田 倫子（准教授、法博、公法学）

ディスカッション（15：30～15：50）

事務連絡（15：50～16：00）

9月13日(水)

第4セッション（09：30～11：45） デモクラシーと行政法・刑法

「ドイツにおける定期的監視測定装置」

ラルフ・ポシャー（教授、法博、公法・理論）

「行政法における専門知とデモクラシー：洪水リスクマネジメントを例に」

重本 達哉（准教授、法博、行政法）

「侮辱罪の法定刑引上げ：新たなコミュニケーション手段における表現の自由と名誉」

金澤 真理（教授、法博、刑事法）

ディスカッション（11：15～11：45）

休憩（11：45～13：00）

第5セッション（13：00～15：15） デモクラシーと会社法

「株主デモクラシー：相互に敵対する発展動向」

ヤン・リーダー（教授、法博、民法・会社法）

「ドイツ会社法における少数派株主保護と多数派株主保護」

ハンノ・メルクト（教授、法博、会社法）

「日本法における株主民主主義の可能性」

高橋 英治（教授、法博、会社法）

ディスカッション（14：45～15：15）

休憩（15：15～15：30）

第6セッション (15:30~16:40) デモクラシーと国際私法

「国際私法とデモクラシー」

ヤン・フォン ハイネ (教授、法博、国際私法)

日本法からのコメント:

国友 明彦 (教授、法博、国際私法)

ディスカッション(16:20~16:40)

9月14日 (木)

第7セッション (09:30~11:45) デモクラシーと社会法

「社会保障法とデモクラシー」

カタリーナ・フォン コペンフェルス＝シュピース (教授、法博、社会保障法)

「労働法におけるデモクラシーの原則・要素・価値」

セバスティアーン・クレバ (教授、法博、労働法)

「労働法を思想史的背景とデモクラシー」

米津 孝司 (教授、法博、中央大学・労働法)

ディスカッション (11:15~11:45)

休憩 (11:45~13:00)

第8セッション (13:00~15:15) デモクラシーと民事訴訟法

「裁判官の法創造と民主主義：熊本水俣病第一次訴訟における水俣病研究会の役割」

鶴田 滋 (教授、法博、民事訴訟法)

「デモクラシーにおける民事訴訟裁判制度」

アレクサンダ・ブルンス (教授、法博、民事訴訟法)

「裁判による法形成と民事訴訟法理論」

岡成 玄太 (准教授、民事訴訟法)

ディスカッション (14:45~15:15)

休憩 (15:15~15:30)

総括討論（15：30～16：30）

閉 会（16：30）

お問合せ先：大阪市住吉区杉本 3-3-138
大阪公立大学大学院法学研究科
Tel 06-6605-2303 Fax 06-6605-2920
<https://www.omu.ac.jp/law/>

Japanisch-Deutsches Symposium

Demokratie und Recht

12. 09. - 14. 09. 2023

UB Osaka Metropolitan University, 10. Stock Grosser Kongressraum

Rechtswissenschaftliche Fakultät der OMU und der Universität Freiburg

Programm

12. Sept. (Dienstag)

Grußworte (09 : 30~09 : 40)

Dekan der Rechtswissenschaftlichen Fakultät Prof. Dr. Shigeru Tsuruta
Rektor der Universität Prof. Dr. -Ing. Masahiro Tatsumisago

Einleitung (09 : 40~09 : 50)

Prof. Dr. Alexander Bruns und Prof. Dr. Kenichi Moriya

I. Sitzung: Demokratie im historischen Kontext (09 : 50~11 : 20)

Marktkonforme Demokratie als Prinzip des Privatrechts
Prof. Dr. Frank Schäfer, Rechtsgeschichte

1945-1950: Demokratie und/ oder Wiederaufbau?
Prof. Dr. Kenichi Moriya, Deutsches Recht

Diskussion (11 : 00~11 : 20)

Kaffeepause (11 : 20~11 : 35)

II. Sitzung: Demokratie als Regierungsform (11 : 35~13 : 05)

Politische Parteien und Demokratie
Prof. Dr. Paulina Starski, Völkerrecht

Melancholie eines Demokraten: Zur gegenwärtigen Lage der Demokratie
Prof. Dr. Shogo Noda, Geschichte der europäischen Politik

Diskussion (12 : 45~13 : 05)

Mittagspause (13 : 05~14 : 20)

III. Sitzung: Demokratie und Verfassungsrechtstheorie (14 : 20~15 : 50)

Demokratische Legitimation als Verfassungsgebot – monistisch, dualistisch oder pluralistisch?

Prof. Dr. Matthias Jestaedt, Staatsrechtstheorie

Normativität der Präjudizien: Legitimität der Justiz und Demokratie

Prof. Dr. Michiko Takata, Öffentliches Recht

Diskussion (15 : 30~15 : 50)

Interne Mitteilungen (15 : 50~16 : 00)

13. Sept. (Mittwoch)

IV. Sitzung: Demokratie und Verwaltungs- und Strafrecht (09 : 30~11 : 45)

Konzept für ein periodisches Überwachungsbarometer für Deutschland

Prof. Dr. Ralf Poscher, Rechtstheorie und öffentliches Recht

Fachliche Kenntnisse und Demokratie im Verwaltungsrecht: Hochwasser-risikomanagement als Beispiel

Prof. Dr. Tatsuya Shigemoto, Verwaltungsrecht

Straferhöhung der Beleidigung: Meinungsfreiheit und Ehre in neuen Kommunikationsmitteln

Prof. Dr. Mari Kanazawa, Strafrecht

Diskussion (11 : 15~11 : 45)

Mittagspause (11 : 45~13 : 00)

V. Sitzung: Demokratie und Gesellschaftsrecht (13 : 00~15 : 15)

Aktionärsdemokratie: Gegenläufige Entwicklungstendenzen

Prof. Dr. Jann Lieder, Privatrecht und Unternehmensrecht

Schutz von Minderheits- und Mehrheitsaktionären im deutschen Gesellschaftsrecht

Prof. Dr. Hanno Merkt, Gesellschaftsrecht

Möglichkeit der Aktionärsdemokratie in Japan

Prof. Dr. Eiji Takahashi, Gesellschaftsrecht

Diskussion (14 : 45~15 : 15)

Kaffeepause (15 : 15~15 : 30)

VI. Sitzung: Demokratie und Internationales Privatrecht (15 : 30~16 : 40)

Internationales Privatrecht und Demokratie

Prof. Dr. Jan von Hein, Internationales Privatrecht

Bemerkungen aus der japanischen Perspektive

Prof. Dr. Akihiko Kunitomo, Internationales Privatrecht

Diskussion (16:20~16 : 40)

14. Sept. (Donnerstag)

VII. Sitzung: Demokratie und Sozialrecht (09 : 30~11 : 45)

Sozialrecht und Demokratie

Dekanin Prof. Dr.Katharina von Koppenfels-Spies, Sozialrecht

Demokratische Grundsätze, Elemente und Werte im Arbeitsrecht

Prof. Dr. Sebastian Krebber, Arbeitsrecht

Ideengeschichtliche Hintergründe des Arbeitsrechts und Demokratie

Prof. Dr. Koji Yonezu, Arbeitsrecht an der Rechtswissenschaftlichen Fakultät der Uni.
Chuo

Diskussion (11 : 15~11 : 45)

Mittagspause (11 : 45~13 : 00)

VIII. Sitzung: Demokratie und Zivilprozessrecht (13 : 00~15 : 15)

Richterliche Rechtsfortbildung und Demokratie – Zur Rolle der „Forschungsgruppe“ bei dem ersten „Kumamoto-Minamata-Krankheit-Urteil“

Prof. Dr. Shigeru Tsuruta, Zivilprozessrecht

Zivilprozessuale Rechtspflege in der Demokratie

Prof. Dr. Alexander Bruns, Zivilprozessrecht

Richterliche Rechtsfortbildung und Zivilprozessrecht

Prof. Genta Okanari, Zivilprozessrecht

Diskussion (14 : 45~15 : 15)

Kaffeepause (15 : 15~15 : 30)

Schlussdiskussion (15 : 30~16 : 30)

Schlussworte (16 : 30)

Rechtswissenschaftliche Fakultät der Metropolitan Universität Osaka

Tel 06-6605-2303 Fax 06-6605-2920

<https://www.omu.ac.jp/law/>